

～今、市民の森では！～



作成:NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin_bunka@yahoo.co.jp)
掲示許可:茅野市 生活環境課 環境保全係

毎年、一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。お問い合わせは 75-1772。

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 生活環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

ツククサ (悦)
ツククサの花のつくりは巧妙で面白い。目立つ飾り雄蕊で虫を誘っておいて、先端の雄蕊の花粉を運んで貰う仕掛け。



飾り雄蕊
花粉はつくらず、虫を誘う。
Y字型の雄蕊
飾り雄蕊、花粉を出すと言う両説あり。
花粉を出す雄蕊

雌蕊(雌蕊のない雄性花もある)
これだけでは安心できず、花が萎むときに雄蕊、雌蕊が縮んで自家受粉する周到さ。

ツククサ (SU)
子供の頃の「色水作り」を思い出しましたあの頃は、きれいな水色にだけ気をとられていたのに、今日は雄しべが3種類もあると教えられてびっくり。いくつになっても知ることが多いです。

ニセアカシア
増えたらどうしよう…途中幼木が群れているところがあり、心配になりました。

見所満載 (☆925)
今日は、見所満載な観察会でした。まずオモシロカッタのは、平素は見過ごしてしまつ「露草」の雄しべの話。3種類の雄蕊があり、その中で一番目立つのは「飾り雄蕊」という本来の役目を果たさないものもあるそう…この会に参加していなければ知り得ない情報。

栗の木の胸高直径を測ったり、湿地でミゾホオズキの愛らしい実を見たり、クマヤナギの実を試食して、タマゴタケの赤いキノコを見て驚き、なんとも楽しい半日でした。

ママコナ
強いイネ科やカツリグサ科の植物の根にこんな可愛い花“ママコナ”が咲くなんてびっくり！今回は植物のこと、いっぱい聞けました。(島田敏)



Ⓚさんの観察日記

- ママコナのかわいい濃いピンクから白に近いピンクまで、やさし気な花にうっとり。
- すぐそばにタマゴタケ(タマゴザケに非ず)。今晚は、オツマミにしよう。
- ナナフシの脱皮。自然は自ら何と複雑、微妙な仕事をこなすことか。人間だったら、とつづくに失敗しているだろう。
- ミヤマウズラの白と単純にいけない色合い、そして愛くるしい表情にみえる花の内側。今年もみられてよかった。
- イチヤクソウの実がなっている。はじめて目にする。
- タマアジサイの花。装飾花がくっきり、薄むらさきの小花がやさしい。
- ハイヌガヤの実を見る。とてもおいしそうだが、まだまだ。熟してから食べてみよう。
- クマヤナギの実とウワミズザクラの実を同時に食べたらいけない。口の中がシブだらけになり しばらくおならない。
- オニグルミをたくさんひろった。しらあえに挑戦?! さてさて…。



○ハイヌガヤについた実のそばに絡まっている蔓。大きくかぶさっている。涼し気。サンカクヅルか？

山は秋 (Fu)

山はそろそろ秋？
栗、くるみの実が落ち始めています。オニグルミを沢山拾いました。これから土に埋め、カラから実を取り出しスウィーツを作る宿題を頂いてしまいました。うまく出来たらご喝采!! 乞うご期待

出会った昆虫 (馬)

- ヒョウモンチョウの仲間
- キタキチョウ
- オナガアゲハ
- アサギマダラ
- ウラナミジャノメ
- クロヒカゲ
- ルリタテハ
- キマワリ
- スジクワガタ ♂
- オニヤンマ
- ヤンマ?
- シオカラ
- オツネトンボ
- ナナフシの仲間(脱皮中)
- キアゲハ
- カラスアゲハ
- ジャノメチョウ
- コジャノメ
- ゴマダラチョウ
- センチコガネ
- ウチワヤンマ
- オオシオカラ
- アカネの仲間

今日出会った鳥 小林1号2号

- ヒヨドリ
- アカゲラ
- ハシボソガラス
- コゲラ
- カワラヒワ
- トビ
- アオゲラ
- キセキレイ
- キビタキ
- アオサギ

☆ミヤマウズラの優雅な姿が印象的。
☆ナナフシの脱皮をライブで見られた。



くるみ割りのプロ (悦)
先住のリス君はくるみ割りは上手。くるみを少し頂きますね。

足元の花 (島田克)

花の少ない時期でしたが、ゆつくりと足元をみていくと、かわいい花が見られました。なにげない草花に注意していくには良い時期ではと思いました。

小さな花一杯 (大谷)

ミゾホオズキ、コケオトギリ、キツネノボタン、等々、黄色い小さな花が一杯。虫のとりありにならないのかと心配になりましたが、きっと何か理由があるはず。

Mittyさんの観察日記

○真夏は木陰を歩いていてもやっぱり暑い。日差しの強い中、大きくて目立つ花々は終わり、ちいさくて可憐な花々が目についた。
コケオトギリ、アメリカアゼナ、ミゾホオズキ...よく見るとそれぞれに可愛らしい。



ミゾホオズキ

○その中で目を引いたのは青が美しいツククサ。子どもの頃から見慣れているが、3種類の雄蕊があることを初めて知った。雄蕊の黄色が青を引き立てていて、自然のデザインは素晴らしい。

ツリフネソウ



イヌゴマ



ヤマハギ



ゲンシショウコ



クマヤナギの実

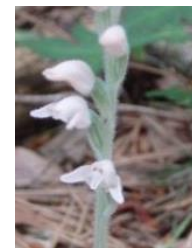


中央コース 1.5Km
山頂広場⇄池
→25分 ←35分
(標高差100m)

1.3Km
駐車場⇄山頂広場
→60分 ←45分
(標高差100m)

南コース 1.8Km
駐車場⇄池
→40分 ←50分
ほぼ平坦

セセラギロード 1.2Km
鑄物師屋分岐⇄横河口
→35分 ←40分
ほぼ平坦



ミヤマウスラ

★ 今日のなんでかな～? (矢)写真も



ヘクソカズラの花

ヘクソカズラなんてかわいそうな名前だけれど、花の香りはとても甘くうっとりです。別名、早乙女花が納得できる可愛らしさです。花を見つけたら、葉の裏も確認してみてください。ルビー色のヘクソカズラヒゲナガアブラムシに会えるかもしれません。



ヘクソカズラヒゲナガアブラムシ

アブラムシは軟弱・弱小な体故、多くの天敵に食べられてしまいます。そこで、このアブラムシはヘクソカズラの臭い成分を体に蓄積して、天敵から身を守っているらしいです。アブラムシは超偏食。寄主特異性があるので、農業・園芸では害虫ですが、いろいろなアブラムシがいるということは、その植生が豊かだともいえます。

アブラムシを観ていると、ジョンレノンの「イマジ」を思い浮かべてしまうのは、なんでかな～?

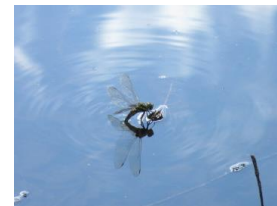
けいちゃんの日記 見つけ!!



SUさんのカメラでけいちゃんが撮影

トンボの産卵 (悦)

池では各種のトンボが産卵中。



横河口 (西田)写真も

○今月は集合場所が横河口でした。いつも霧ヶ峰方面に行く時に通る道です。車少なく、快適にビーナスラインに行けます。横河口に入ったところ駐車場も充分にあります。



○ナナフシの脱皮 もちろん初めて見ました。



○タマゴタケ あまりの色のきれいにびっくりです。成熟すると傘が開くようです。



ホオノキ (KK)



ホオノキが来年の芽を付けていました。